



University of the Ryukyus Library Bulletin, Vol. 25 No. 4 Dec. 25 1992.

館長の任期を終えて

— 自己評価の一例 —

比嘉長徳

図書館長としての私の任期は平成2年11月1日から平成4年10月31日までであった。その2ヶ年の在任中に感じたことを述べてみたい。

まずどういうことが主な仕事だったか。日常書類の決裁、会議、来客への対応、他部局との調整等である。決裁書類はそれほど多くはなかった。会議は部局長会、評議会をはじめ、20近くの職責上の委員会等に関与していた。館長として直接対応した来客は年に20名程度だっただろうか。任期中にわが図書館を訪れた一番のVIPはECの駐日大使（フランス人）であった。琉大は国連及びEC関係資料の寄託図書館になっているので、その視察に来られたの

であった。その他、図書館関係者、大学の研究者が何名か訪問された。他部局との調整は、主に予算、施設関係の問題等であった。大学祭の期間中に図書館の玄関前の階段使用の件で学生部との交渉もあった。文部省との交渉は就任挨拶を兼ねて出向いたときに、専用電算機の予算配分のお願いに行っただけで、事務段階の折衝は主として部長課長が当たった。そのほか、任期中に、九州地区の国立及び公立・私立大学図書館協議会、全国国立大学図書館協議会に出席するため、それぞれ2回の出張があった。県内の大学図書館協議会が2年間に8回開かれ、幹事館としての対応があった。

このように書いてくると、他の部局長に比べ

目次	
館長の任期を終えて	1
ILL出力帳票の改良について	3
本学教官著作寄贈図書案内	5
1993年度新規購入・中止雑誌一覧	6
沖縄関係図書新着案内	8
医学部分館だより	11
図書館事情	12

館長職は楽なものだとの印象であろう。そうかも知れない。現にそういう印象を持っている人は多い。仕事が楽かそうでないかは、印象的に誰が見ても、多忙さの度合いとか問題含みの件数が多いかどうかということで判断されているようだ。そしてこの判断も間違いではないと思う。私が館長に就任したとき、「何もやらんでよいから、一つだけ記録に残るような仕事をしなさい」と、アドバイスしてくれた同僚がいた。ただ何十年も続いたがっちりとした組織の中で、長たりといえども、一人の人が今までの流れを変えて、刷新だとか変革だとかいう問題は、簡単に押し進められるものではない。少々押しが強く、一時的にアドバランを上げて変革らしきことをやったとしても、組織全体が動かなければ、結局は傍迷惑なそれこそアドバランに終わるのが落ちだ。言うまでもないことだが、組織を動かすということは、誰がみても将来の発展につながると思われる立派な計画を持ち込み、時間をかけて皆と話し合い、納得し合って初めて可能となる。

在任中に戸惑いを感じたことの一つに、コンピュータに関する知識不足の問題があった。特に最近のテクノロジーの目まぐるしい発展は図書館業務の中にまで浸透し、コンピュータの知識なくしては、図書館業務の全貌を的確に把握することは、並大抵のことではない。就任間もないころは、決裁書類の中に出てくるコンピュータ用語に悩まされた。そういうことは一々館長が分からなくても構わない、と言ってしまえばそれまでだが、そして事実分からなくても、組織がしっかりしているから、図書館は何の支障もなく動いていく。それにしても、と正直に告白すると、そういうモヤモヤは精神衛生上いいことではない。

私の任期中に実現した、あるいは実現のメドのついた主なものを一つ二つ拾い上げてみると、平成4年の2月に予算化され稼働した図書館専用電算機の導入がある。従来、情報処理センターの電算機に頼っていた図書館の整理分類等の日常業務が、すべてこの専用電算機で処理することが可能となり、館内業務の能率がアップされた。次に実現の可能性が見えてきたのが、図書館の増築問題である。蔵書およびその他資

料の急増に伴い、現在の5,440平米では、スペースの狭隘化の問題が大きな悩みの種である。現キャンパスに新築された図書館も10年を越し、増加していく資料類の整理・保管の場が年々狭められ、閲覧席への圧迫が始まった。この問題解決のため年々増築を申請し、学内の理解を得て予算要求でも上位にランクされてきた。全国的にも図書館スペースの狭隘化が問題となり、マスコミでも大きく取り上げられ、文部省も重い腰を上げ増築を認める兆しが出始めた。うまくいけば申請中の3,000平米余が認められる可能性が出てきた。それが実現すれば、現図書館の生協側のスペースに3階建てのアネックスが建つ予定である。

最近、大学改革の問題との絡みで、大学の自己評価ということが頻りと話題になっている。この稿を結ぶに当たって、一館長の自己評価的統計を追加しておきたい。この2年間、勤務日誌をこまめにつけてきた。出退館時間、決裁書類のタイトル及び主な内容、会議・打ち合わせ並びにその問題点・対策等々。以下に私の任期中の最初の1年分のみ統計を出してみる。

1年間の出館日数	…… 214日
在館勤務時間	…… 593時間
	(1日平均 …… 2時間48分)
決案件数	…… 478件
	(1日平均 …… 2.2件)
会議及び打ち合わせ	…… 141回
	(1日平均 …… 0.65回)

最後に、在任中の皆様のご協力、特に図書館員諸氏のご協力に感謝し、併せてわが琉大図書館の限らない発展を祈念し、本稿の結びとしたい。

(ひが ちょうとく：法文学部教授・前館長)



I L L (図書館間相互貸借)出力帳票の改良について

城田由二、宮里 愿、柳瀬吉雄

(1)はじめに

学術研究に必要な文献をより迅速に入手する目的で、学術情報センターの目録データベースを活用したI L L (図書館間相互貸借)サービスが始まって半年あまり経過し、文献の到着は従来より早くなっている。琉球大学の場合、依頼件数は従来と変わらないものの、受付件数は、文献複写が従来との2倍、現物貸借が4倍となっている。

受付館としての業務をすすめる上で不可欠な出力帳票はメーカーから提供されていたが、使いづらい点がかなりあって、再三改良を要望していたところ、メーカー側での対応はできないが、利用者側で手を加えるための協力・援助はするとの回答であった。この出力帳票は、I L L ローカルシステムの一部として学術情報センターから出力見本の提示はあったが、ローカルのハードウェアに負う部分が大いいため利用者サイドで各メーカーと協議しながら作成することとされている。このため、これまで「国立大学等図書館間相互における文献複写業務取扱要領」で決められた共通のはがき様式で定型的な

処理ができていたのが、業務の一部変更を余儀なくされた。

出力帳票の現状は、東北大学を交渉窓口としたNECユーザーグループで大量受付館を意識した様式(以下、「NEC版」)が作られているほか、独自の様式を作成している大学がいくつかあるが、画面のハードコピーを使っているとところもかなり多い。琉球大学で使用していた出力帳票は、「変更前」のとおりで、次のような問題点があった。

- ① 依頼館の宛名が小さく使いづらいこと。
- ② 文献複写と現物貸借が見出し区分されないこと。
- ③ 現物貸借に必要な配架場所、登録番号などの情報が出力されないこと。
- ④ 各項目の見出しが判別しにくく全体に読みづらいこと。

(2)プログラム改良の経緯

帳票の改良にあたっては、NEC版の帳票を参考にし、大量受付館で窓付き封筒を使用する場合にも対応できるフォームを考慮して設計し

② → <文献複写申込> <LA000214146X>
 DNLM: 熊大 ANLNM: 琉大
 受付日: 19921204 公費 電子 PRNT: 簡納
 ONU: 2646

④ { BIB : <AA00721562> Marine geology : International
 Journal of marine geology, geochemistry and
 geophysics. (ISSN-00253227)
 VOLNO: 40 PAGE : 237-253
 YEAR : 1981
 ARTCL: R. C. Thunell, S. Honjo/Planktonic foraminiferal
 flux to the deeps Ocean : sediment trap
 results from the Tropical Atlantic and the
 Central Pacific
 HML: FA003691 簡大 CLM:
 ③

HV: MACSIS CAT BV:
 CLNT: 城田大良 CLNTP: 理(地学)
 USTAF: 相互利用担当者 参考係 TEL: 096-344 2111
 内線: 2227 FAX: (096)345-9087

ITEM: QNT: UPRCE: CHRG:
 FEB: POSTG: SUM:
 荷金徴収H:
 CHNT:

① ← ローカル処理:
 現金 滞留封筒、郵送
 納入告知書発行
 滞費明渡
 メモ:

変更前

干 No0
 熊本市風雲2401 熊本大学附属図書館 参考係
 印中

<LA000214146X> ONU: 2646 QUATE: 19921204
 ANO: 公費 PRNT: 簡納
 BIB : <AA00721562> Marine geology : International
 Journal of marine geology, geochemistry and
 geophysics. (ISSN-00253227)
 VOLNO: 40 PAGE : 237-253
 YEAR : 1981
 ARTCL: R. C. Thunell, S. Honjo/Planktonic foraminiferal
 flux to the deeps Ocean : sediment trap
 results from the Tropical Atlantic and the
 Central Pacific
 CLNT: 城田大良 CLNTP: 理(地学)
 ITEM: QNT: UPRCE: CHRG:
 FEB: POSTG: SUM:
 <簡納欄>

図書館借出票			
図書館	借出日	年月日	返却日
借出者名:	所属:	TEL:	
請求記号:	International Journal of marine geology, geochemistry and geophysics. (ISSN-00253227)		
巻号: 40	頁: 237-253		
年次: 1981	著者: R. C. Thunell, S. Honjo/Planktonic foraminiferal flux to the deeps Ocean : sediment trap		
論題:	R. C. Thunell, S. Honjo/Planktonic foraminiferal flux to the deeps Ocean : sediment trap		

<備考>

た。NEC版との大きな違いは、1バイト・2バイト文字の混在が可能なことであるが、NEC版で設計されたローカル所蔵情報とのリンクまでは考慮していない。なお、この改良版では、現物貸借の場合に依頼館側で利用者からの借用依頼の書式が別にあるものとして「図書借書」の部分は割愛した。

帳票設計と並行して、プログラムの解析を行った。富士通の帳票出力プログラムは、事務用BASICを使用しており、ダウンロードデータの分解から出力まで6本のプログラムに分かれている。データの切り出し方や出力ルーチンなどは、できるだけオリジナルプログラムの構成を崩さないように配慮した。開発にあたったメンバーはそれぞれ他のプログラム言語に関する多少の素地はあったものの、使用された事務用BASICは初めてという状況で、沖縄富士通の担当SEに使用方法などの指導を受けながらの手探りの作業であったが、オリジナルで「電子複写」の文字が完全に表示されなかった原因を突き止めるところまで手を加えることができた。

(3) 改良後の出力帳票

「変更後」の出力帳票は、左の作業帳票と右の通知書部分がそれぞれ「A・B・C」の3つの部分に分かれており、各部分にははがき大に近づけてある。フォーム全体は汎用の連続用紙に対応している。改良を加えた点は次のとおりである。

- ① 文献複写と現物貸借のフラグを判別し、左上の見出し表示がそれぞれ変化するようにした。「左A」と「右B」は、従来のはがき様式の依頼書に含まれた事項を網羅するようにし、ほぼ同じ様式にまとめた。
- ② 同様に送付宛名下の「～在中」表示も、文献複写の場合は「複写物在中」、現物貸借の場合は「図書在中」と変化する。ただし、図書送付の場合は現在のところ郵便局所定の複写ラベルを使用する必要がある。
- ③ 「右A」の宛名ラベル部分を整理し、窓付き封筒にも使える様式とした。
- ④ 依頼書部分の表示を日本語とし、項目を整理し直して見やすくした。この部分はN

<p>① 文献複写 : 電子複写 (五-A)</p> <p>LA000214146X (FA003549): 借大 依頼日: 19921204 冊数: 2646 (FA003691): 送大 受付日: 19921204 冊数: 複製区分: 複製 複製番号:</p> <p>② 書名: AA00721562>Marine geology: International journal of marine geology, geochemistry and geophysics. (ISSN=00253227)</p> <p>③ 巻号: 40 ページ: 237-253 年次: 1981 誌題: B. C. Thaneil, S. Honjo/Planktonic foraminiferal flux in the deep ocean: sediment trap results from the Tropical Atlantic and the Central Pacific</p> <p>依頼者: 尾田太良 所属: 理(地学)</p> <p>④ 形態: 枚数: 複写部: 円(e35) 原本料: 送料: 全額: 円</p> <p>⑤ 所蔵情報 (左-B)</p> <p>所属館所 FA003691 借大 CLN: ⑥ LUC: ⑦ RGTk:</p> <p>⑧ 依頼書メッセージ</p> <p>所蔵機関: NACSIS-CAT 担当: 相互利用担当 参考係 TEL: 096-344 2111 内線: 2227 FAX: (096)345-9087</p> <p>コメント:</p> <p>⑨ 「作業記録」</p> <p>複写作業:</p> <p>料金通知: 返却期限: 料金収納: 送料: 発送日: 返却日:</p> <p>⑩ ローカル処理</p> <p><input type="checkbox"/> 現金返附票発行、郵送 <input type="checkbox"/> 納入印刷書発行 <input type="checkbox"/> 用紙調度</p> <p>メモ</p>	<p style="text-align: right;">(右-A)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>変更後</p> </div> <p>千800</p> <p>③ 原本由書製2-40-1</p> <p>原本由書製2-40-1</p> <p>原本由書製2-40-1</p> <p>④ LA000214146X>複写物在中</p> <p>⑤ 担当者: 相互利用担当 参考係 TEL: 096-344-2111 内線: 2227 FAX: (096)345-9087</p> <p>⑥ 文献複写 : 電子複写 (右-B)</p> <p>LA000214146X 依頼日: 19921204 冊数: 2646 受付日: 19921204 冊数: 複製区分: 複製 複製番号:</p> <p>⑦ 書名: AA00721562>Marine geology: International journal of marine geology, geochemistry and geophysics. (ISSN=00253227)</p> <p>⑧ 巻号: 40 ページ: 237-253 年次: 1981 誌題: B. C. Thaneil, S. Honjo/Planktonic foraminiferal flux in the deep ocean: sediment trap results from the Tropical Atlantic and the Central Pacific</p> <p>依頼者: 尾田太良 所属: 理(地学)</p> <p>⑨ 形態: 枚数: 複写部: 円(e35) 原本料: 送料: 全額: 円</p> <p>⑩ 宛名日: 引渡日: (右-C)</p> <p>⑪ 送却期限: 返却日:</p> <p>⑫ 発行館: 平983-01 沖縄県中頭郡志摩町字平野1 佐藤大学附属図書館 参考係 佐藤 連絡先: 加花(梅子), 佐野用(健信) (G)FA2-098-895-2651 TEL: 098 895 2221(内線2145), (44)FAX: 985-1300 [連絡メモ]</p>
--	---

- E C 版と同様のスタイルとしている。
- ⑤ 料金関係も表示を日本語にした。この部分はデータ入力後に出力すると入力されたデータが表示される。
 - ⑥ 「左 B」に配架場所データを [LOC:] の次に表示するようにした。
 - ⑦ 同様に、登録番号情報を [RGTN:] のもとに表示するようにした。富士通端末ではこれまで画面コピーをとらなければならなかった部分である。
 - ⑧ 「作業記録」としてローカルで記入する日付部分をまとめた。この部分は、料金欄と同様に I L L で日付入力した場合にはそのデータが表示される。
 - ⑨ 「右 C」に依頼館での日付部分をまとめた。これも I L L で入力したデータが表示される。富士通端末では依頼データも受付データ同様にどの状態からでもダウンロードが可能であるため現物貸借の返送の際に同封する帳票として使用することもできる。
 - ⑩ さらにこれまで「通知書」部分に欠けていた受付館の情報を付記した。このデータは現物貸借の場合は当初受付時のダウン

ロードデータに含まれるが、文献複写の場合には欠けており、N E C 版ではローカルに参加組織ファイルを持たせて対応している。今回の改良ではプログラム中にダイレクトにデータを書き込んでおり、使用する図書館ごとにデータを書き直す必要がある。

ローカルに接続館だけのファイルを作れば、現物返送の場合の宛先部分のチェンジも可能であるが、今後の改良に委ねることとして、「変更後」の様式は 1 2 月から実際の業務に使用している。本来この出力帳票のフォーム改良は、ローカルシステムの一部として N E C 版と同様に利用者サイドと協議しながらメーカーが行うべきものと考えられる。今後の I L L ローカルシステムの改良としては、現在、業務の大きな負担となっている論文名入力作業の軽減のために、利用者申込書を電子化してそのデータをフロッピーで取り込んで利用するなど外部データとのリンクが期待される。

(しろた ゆうじ：情報サービス課学術情報係)
 (みやさと すなお：同 課学術情報係主任)
 (やなせ よしお：同 課参考調査係長)

本学教官著作寄贈図書案内

1992年9月～1992年11月

- | | |
|--|---|
| 上江田 捷博 (教養部)
化学で探る海洋生物の謎／安元健編 化学同人, 1992
468.8-YA | 新城 明久 (農学部)
動物遺伝育種学入門／新城明久編 川島書店, 1992
467-SH |
| 安井祐一 (教養部)
フィリピンの近代と文学の先覚者ホセ・リサールの生涯／安井祐一編 芸林書房, 1992
289.2-YA | 水野 益継 (教育学部)
ヤブチ式土器と屋慶名村の誕生 (上・下)／仲地和雄、水野益継編, 1992
K223-NA |
| 友寄 友造 (教養部)
Collective Motion of Ions in Superionic Conductors / Ed. T. Tomoyori, - University of Ryukyus, 1992
427.4-TO | 島袋 伸三 (法文学部)
熱い心の島／掘信行、渡久地健編 古今書院, 1990
注) 各資料末尾の記号は請求記号です。 |

1993年度新規購入・中止雑誌一覧

誌名	刊期	発行国	学 科
(新規購入外国雑誌)			
1 Diabetes Research and Clinical Practice	12N	IR	医学 成人保健学 1
2 Early American Literature	3N	US	教養 外国語
3 European Journal of Mechanics, A:Solids	6N	FR	工・短 機械系
4 European Journal of Phycological (Cf: British Phycological Journal)	4N	UK	教育 理科
5 Geomorphology	8N	NE	教養 地理
6 Grass and Forage Science	4N	UK	農学 畜産
7 IEEE Transactions on Parallel and Distributed Systems	4N	US	工学 電子情報
8 International Journal of Fatigue	6N	UK	工・短 機械系
9 International Journal of Health Sciences	4N	NE	医学 看護学第2
10 International Journal of Plasticity	8N	UK	工・短 機械系
11 Journal of Aircraft	6N	US	工・短 機械系
12 Journal of East Asian Linguistics	3N	US	法文 文学科 英文
13 Journal of Testing and Evaluation	6N	US	工・短 機械系
14 Materials and Structures	10N	UK	工学 土木
15 Nurse Practitioner Forum ; Current Topics and Communications	4N	US	医学 看護学第2
16 Physics in Medicine and Biology	12N	UK	医学 放射線医学
17 Postharvest Biology and Technology	4N	NE	農学 農業工学
18 Seminars in Radiation Oncology	4N	US	医学 放射線医学
19 Seminars in Ultrasound	6N	US	医学 放射線医学
20 Social Development	4N	UK	教育 教育心理

(新規購入国内雑誌)

1 FORBES:フォーブス	月刊	法文	経済 経営学
2 教材開発	月刊	教育	センター
3 月刊 学校教育相談	月刊	教育	センター
4 建築文化	月刊	工学	建設
5 シミュレーション		工・短	機械系
6 日本消費者教育学会誌	年1回	教育	家政
7 日本生活文化史学会誌「生活文化史」	年2回	教育	家政
8 日本服飾学会誌	年1回	教育	家政
9 熱帯林業	年3回	農学	演習林

(購入中止外国雑誌)

1 Acta Metallurgica et Materialia	工・短 機械系
2 American Machinist	工・短 機械系
3 Annee Sociologique	教養 社会系
4 Biochemistry	農学 農芸化
5 Bioresource Technology	工・短 機械系
6 Cahiers Internationaux de Sociologie	教養 社会系
7 Canadian Journal of Chemistry	農学 林学科
8 Cereal Chemistry	農学 農芸化
9 Clinical Imaging	医学 放射線医学
10 Euphytica: Netherlands Journal of Plant Breeding	農学 農学科
11 Experimental Heart Transfer	工・短 機械系
12 Experiments in Fluids	工・短 機械系
13 Food Processing	農学 農工
14 Food Technology	農学 農芸化
15 Holzforschung	農学 林学科
16 International Journal of Fracture	工・短 機械系
17 International Journal of Heat and Fluid Flow	工・短 機械系
18 Invertebrate Taxonomy	教育 理科
19 Journal of Agricultural and Food Chemistry	農学 農芸化
20 Journal of Contemporary History	教育 社会
21 Journal of Materials Processing Technology	工・短 機械系
22 Journal of Rheology	農学 農工
23 Journal of Stored Products Research	農学 農工
24 Koelner Zeitschrift fuer Soziologie und Sozialpsychologie	教養 社会系
25 L'Homme et la Societe	教養 社会系
26 Physics Today	教育 数学
27 Reproduction, Fertility and Development	農学 農芸化
28 Sociological Research	教養 社会系
29 Sociologie du Travail	教養 社会系
30 Sociologus	教養 社会系
31 Seminars in Dermatology	医学 皮膚科学
32 Tappi Journal	農学 林学科
33 Werkstatt und Betrieb	工・短 機械系

(購入中止国内雑誌)

1 材料とプロセス	工・短 機械系
2 住宅建築	工学 建設
3 森林と肥培 (林学科)	農学 林学科
4 澱粉科学	教育 家政
5 日本衣服学会誌	教育 家政
6 日本ガスタービン学会誌	工・短 機械系
7 日本複合材料学会誌	工・短 機械系
8 プラスチックス	工・短 機械系
9 ホルモンと臨床	農学 畜産

注：「工・短 機械系」は工・機械，工・エネ機，短・機械の共同購入を示す

沖縄関係資料新着案内

1992年9月～1992年11月

0類 総 記

1. 沖縄いろいろ事典／ナイチャーズ編；垂健吾 [著] 新潮社, 1992.3
(とんぼの本) 031-NA
2. 現代沖縄事典：復帰後全記録／琉球新報社編集局編集 琉球新報社, 1992.5
031-RY
3. 琉球大学移転完了記念講演集／琉球大学 [編] 琉球大学庶務部庶務課, 1992.2
040-RY
4. 久米島三鳥論 = A three-Bird talk about Kume Island／仲原裕試訳 久米島新聞社, 1992.3
本文は活字体, 方言, 口語, 漢文, 英語
092.9-NA

1類 哲 学

1. 王権の基層へ／赤坂憲雄編著 新曜社, 1992.5
(叢書史層を掘る；3) 176-AK

2類 歴 史

1. 沖縄にあった邪馬台国／沖縄社会研究所編；長浜博文著 沖縄社研出版, 1992.4
200.2-OK
2. 『古事記』に隠された幾何学／大谷幸市著, 六興出版, 1992.1
(ロッコウボックス) 200.2-OT
3. 沖縄県史料 前近代7, 近代5／沖縄県立図書館史料編集室編 沖縄県教育委員会, 1991.3-1992.3
前近代7：首里王府仕置3
近代5：移民名簿1 200.8-O52
4. 尾崎三良日記 上, 下巻／伊藤隆, 尾崎春盛編 中央公論社, 1991.8-1992.2
200.8-OZ
5. 新版 [古代の日本] 3／下條信行 [ほか] 編 角川書店, 1991.11
3：九州・沖縄
沖縄部分の編者：知念勇, 高良倉吉

201-SH

6. 琉球弧の世界／谷川健一著者代表 小学館 1992.6
(海と列島文化；6) 201-TA
7. ことばに見る沖縄戦後史 1,2 / 琉球新報社編 ニライ社, 1992.3 201.7-RY
8. 宜野座村誌 第一巻, [第一巻] 別冊／宜野座村誌編集委員会編 宜野座村役場, 1991.3
第一巻：通史編
[第一巻] 別冊：金武村人「海外旅券下付表 (外省省)」名簿
218-G46
9. 間切公事帳の世界／沖縄市史編集事務局編 第2版 沖縄市教育委員会, 1989.3
(沖縄市史資料集；1) 225-OK
10. 南嶋昭和誌 続／西表信著 [西表信] 1992.3
(西表信；第3集) 251-IR
11. 八重山近代史の諸相／三木健著 文嶺社 1992.4
250-MI
12. 石垣市史／石垣市総務部市史編集室編 石垣市役所, 1991.8
資料編近代7：新聞集成4
新聞集成1～4総索引 251-I73
13. ドイツ人のみた明治の奄美／クライナー・ヨーゼフ, 田畑千秋著 ひるぎ社, 1992.2
260-KR
14. 久米村王氏門中資料 二／王氏門中会系図編集委員会編 王氏門中会, 1991.10
始祖王立思入琉四百年記念現代世系図特集 288.2-OS
15. 華南文化史研究／白鳥芳郎著 六興出版 1985.9
288.2-SH
16. 琉球紋章 1／本恵郷編著 琉球紋章館, 1992.2
288.6-MO
17. 琉球家紋系図宝鑑／伊禮春一編 伊禮春一, 1992.3
288.6-RY
18. 甘きいずみ：喜舎場永 生誕百年記念誌／牧野清, 石垣繁編 喜舎場永生誕百

- 年記念事業期成会, 1991.11 289-KI
19. 私のジョン万次郎：子孫が明かす漂流
150年目の真実／中浜博著 小学館,
1991.3 289-NA
20. 苦難を乗り越えて：私の半生記／登川正
太郎著 宮里松正後援会, 1989.1
289-NO
21. 久米島の地名と民俗／仲村昌尚著 『久
米島の地名と民俗』刊行委員会, 1992.6
290.34-NA
22. 透きとおった魚：沖縄南帰行／大竹昭子
著 文藝春秋, 1992.7 290.9-OT
23. ジョン万次郎漂流記：運命へ向けて船出
する人／エミリー・V・ウォリナー著；
宮永孝解説・訳 雄松堂出版, 1991.12
(海外渡航記叢書；5) 290.9-WA

3類 社会科学

1. 沖縄修学旅行／新崎盛暉 [ほか] 著 高
文研, 1992.7 302-AR
2. 沖縄占領の27年間：アメリカ軍政と文化
の変容／宮城悦二郎 [著] 岩波書店,
1992.8
(岩波ブックレット；NO.268) 302-MI
3. 沖縄の社会と文化／佐藤照雄 [ほか] 編
著 教育出版センター, 1992.7 302-SA
4. ひと・もの・ことの沖縄文化論／渡名喜
明著 沖縄タイムス社, 1992.2
(タイムス選書2；9) 302-TO
5. 琉球政府：自治権の実験室／大城将保著
ひるぎ社, 1992.5 317-OS
6. 南西海域の海上保安20年の歩み／第十一
管区海上保安本部編集委員会編 海上保
安協会沖縄地方本部, 1992.3
317.77-DA
7. 沖縄の自治と平和：基地の存在が問いか
けるもの／仲地博 [著] 地方自治総合
研究所, 1992.2
(自治総研ブックレット；24) 318-NA
8. 沖縄国税事務所二十年史／「沖縄国税事
務所二十年史」作成委員会, 1992.5
345.1-OK
9. ライフロング・ソシオロジー／山本慶裕
元田州彦編 東海大学出版会, 1991.12
361-YA

10. 20年のあゆみ：沖縄県社会福祉事業団／
沖縄県社会福祉事業団編 沖縄県社会福
祉事業団, 1992.2 369-OK
11. 沖縄をテーマとした国語読本の編成に関
する研究 (第二集)／藤原幸男 [著]
[藤原幸男], 1992.3
平成三年度宇流麻学術研究助成金による
研究成果報告書 375.8-FU
12. からだと心の周辺：明日を拓く子ども
フォーラム／沖縄県小児保健協会編 琉
球新報社, 1992.2 376-OK
13. 研究制度手続の手引 琉球大学庶務部庶
務課, 1992.3 377.7-KE
14. この世の外れ：琉球往還私記／原田禹雄
著 筑摩書房, 1992.7 380.4-HA
15. 日本民俗研究体系 第1巻－第10巻／日
本民俗研究体系編集委員会編 國學院大
學, 1982-1991
1：方法論. 2：信仰伝承. 3：周期伝承.
4：老少伝承. 5：造形伝承. 6：芸能伝
承. 7：言語伝承. 8：心意伝承. 9：文
学と民俗学. 10：国学と民俗学.
381-KO
16. 奄美文化を探る：文芸・民俗・歴史から
のアプローチ／岩瀬博, 山下欣一編著
海風社, 1990.11
(南島叢書；56) 382-IW
17. 漂海民：家船と糸満／谷川健一編 三一
書房, 1992.5
(日本民俗文化資料集成；第3巻)
384.1-TA
18. 生活と儀礼：小野重朗著作集／小野重朗
著 第一書房, 1992.6
(南日本の民俗文化；1) 384.3-ON
19. 家と女性の民俗誌／村武精一著 新曜社
1992.5 384.6-MU
20. 供犠の深層へ／赤坂憲雄編著 新曜社,
1992.2
(叢書史層を掘る；第4巻) 385-AK
21. 来訪するマユの神：マユンガナシー
[石垣島]／比嘉康雄著 ニライ社,
1992.5
(神々の古層；6) 385-KA
22. 奄美の暮しと儀礼／田畑千秋著 第一書
房, 1992.3

(南島文化叢書；14) 385-TA

23. 民俗宗教と救い：津軽・沖縄の民間巫者
：日本文化のこころその内と外／池上良
正著 淡交社, 1992.4
24. 方法としての境界／赤坂憲雄編 新曜社,
1991.12
(叢書史層を掘る；第1巻) 385.2-AK
25. 漂泊する眼差し／赤坂憲雄編 新曜社,
1992.1
(叢書史層を掘る；第5巻) 385.7-AK
26. 琉球芸能事典／那覇出版社編集部編 那覇
出版社, 1992.3
監修：当間一郎 385.7-RY

4類 自然科学

1. 沖縄気象台百年史. 資料編／沖縄気象台
編 沖縄気象台, 1992.3 451.2-OK
2. 鹿児島県の地質／鹿児島県地質図編集委員
会編 鹿児島県地質図編集委員会,
1992 455.9-KA

5類 工 学

1. 沖縄・巨大開発の論理と批判：新石垣空港
建設反対運動から／鶴飼照喜著 社会評論
社, 1992.5 518.9-UK
2. 沖縄ビル管理株式会社25年史 沖縄ビル管
理, 1992.3 528-OK

6類 産 業

1. リゾートを核とした石垣の産業の複合化を
めざして／小濱観光学研究室, 小濱哲執筆
沖縄観光研究会, 1992.4 601-KO
2. 美(ちゅ)ら島わがまちふるさと：自ら考
え自ら行う地域づくり 沖縄県総務部地方
課, 1992.3 602-OK
3. 水産人森田眞弘著作集：激動の沖縄水産界
を背負って 水産人森田眞弘著作集編集会,
1988.3 660.4-MO
4. 四十年のあゆみ 沖縄県交通安全協会連合
会, 1991.6 681-YO
5. パース難、回想記：外国貿易と港運業／親
川光繁 [著] 沖縄港運協会, 1988.5
683.9-OY

7類 芸 術

1. 喜屋武グスク：公園計画に係る遺跡詳細範
囲確認調査概報 沖縄県具志川市教育委員
会, 1988.3 709.2-KY
2. 特別展海上の道：沖縄の文化／名古屋市博
物館編 [名古屋市博物館], 1992.3
展観目録 709-NA
3. 慶田崎遺跡：久部良小学校体育館建設工事
に伴う緊急発掘調査報告 沖縄県与那国町
教育委員会, 1986.3
(与那国町文化財調査報告書；第1集)
709.2-YO
4. 普天間敏を偲ぶ [出版者不明],
[1989.7] 723-FU
5. 生まれ島・沖縄：アメリカ世から日本世／
比嘉康雄著 ニライ社, 1992.5
発売：新日本教育図書 748-HI
6. 泣きなさい笑いなさい：ウパニシャッドの
詩／喜納昌吉 [著] リオン社, 1988
発売：二見社 767.8-KI
7. 喜納昌吉チャンプルーブック／ハイサイ＋
宝島編集部編 JICC出版局, 1991.12
767.8-YA
8. 闘牛・沖縄／沖縄タイムス社編 沖縄タイ
ムス社, 1992.3
監修：沖縄県闘牛組合連合会 788.4-OK
9. 沖縄唐手の研究：空手道の神髄と奥義／可
成伸徹著 元就出版社, 1992.7
発売：星雲社 789.2-KA
10. 創立十周年記念誌 沖縄空手道連盟,
1991.12 789.2-OK
11. 琉球棒術／村上勝美著 愛隆堂, 1992.2
789.4-MU
12. ブクブク茶：豊かな泡を飲む／安次富
順子著 ニライ社, 1992.6
発売：新日本教育図書 791-AS

8類 言 語

1. うちなあぐち考／野原三義著 沖縄タイ
ムス社, 1992.3
(タイムス選書2；10) 800-NO

9類 文 学

1. 琉球弧の文学：大城立裕の世界／里原昭
著 法政大学出版局, 1991.12

- (教養学校叢書；7) 900-SA 1990.4 917-TA
2. 物語史への試み：語り・話型・表現／関根賢司著 桜楓社，1992.1 900-SE
3. 物語という回路／赤坂憲雄編 新曜社，1992.4 (叢書史層を掘る；第2巻) 911-AK
4. ユーカラ・おもろさうし／池宮正治 [ほか] 編集・執筆；吉本隆明エッセイ 新潮社，1992.3 (新潮古典文学アルバム；別巻) 911-MU
5. 「おもろ語」の周辺／崎間敏勝著 琉球文化歴史研究所，1992.4 (シリーズ「琉球の文化と歴史の考察」；第11号) 911-SA
6. 夏の夕：當銘芳郎集／當銘芳郎著 近代文藝社，1991.9 (1991平成歌人集；第1集) 915-TO
7. 珊瑚礁／小熊一人著；小熊高子編 濱発行所，1992.2 (濱叢書；第206篇) 916-OG
8. 紅たちてゆく女：小橋啓生集／小橋啓生著 近代文藝社，1991.5 (日本俳人文庫；第53集) 916-SH
9. 花田英三詩集／花田英三著 土曜美術社 1991.9 (日本現代詩文庫；55) 917-HA
10. 詩はどこにあるか：詩集 脈発行所，1991.11 (比嘉加津夫文庫；5) 発売：サザンプレス 917-HI
11. 東京の憂鬱／伊良波盛男著 沖積舎，1990.8 917-IR
12. 闇の腹わた：詩集／高良松一著 石文館 1990.4 940-NA
13. オキナワン・ビート／仲里効著 ボーダーインク，1992.7 940-NA
14. 九年母／沖縄エッセイストクラブ編 ひるぎ社，1992.4 沖縄エッセイストクラブ作品集 940-OK
15. 南島だより／椎名誠写真と文 マガジンハウス，1992.5 940-SH
16. ある沖縄戦／儀同保著 日本図書センター，1992.5 (「戦争と平和」市民の記録；15) 950-GI
17. The girl with the white flag : an inspiring story of love and courage in war time / Tomiko Higa ; translated by Dorothy Britton. -- Kodansha International, 1991 950-HI
18. ある沖縄ハワイ移民の「真珠湾」(パール・ハーバー：「生みの国」と「育ちの国」)のはざままで／堀江誠二著；堤勝雄写真 P H P 研究所，1991.12 950-HO
19. ひめゆりたちの祈り：沖縄のメッセージ／香川京子著 朝日新聞社，1992.6 950-KA
20. 日本列島を往く／鎌田慧著 岩波書店，1991.5 (鎌田慧の記録；1) 950-KA
21. 沖縄文学全集 第12, 17, 18巻／沖縄文学全集編集委員会編 国書刊行会，1992 12：紀行. 17：評論1. 18：評論2. 980-OK

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

医学部分館だより

◎ 第30回医学部分館運営委員会
日時：平成4年11月24日(火)
16:00 ~17:10

報告事項

- (1)大学改革の推進について一図書館関係
(2)第40回九州地区医学図書館協議会総会について

- (3)完全週休2日制実施に伴う土曜日開館について
(4)平成4年度図書館備付学生用・院生用図書の利用について
(5)看護系大学等の改善充実について
(6)分館利用状況について
(7)その他

図書館事情

[人事異動]

氏名	現職	前職	発令日
永盛 肇	館長 (第18代)	医学部教授	4.11. 1
比嘉 長徳	任期満了	館長 (第17代)	4.10.31
平良香代子	法文学部会計係	情報管理課受入係	4.10. 1

[運営委員の交替]

医学部教授 野田 寛(H.4.11.1~)
永盛肇教授の館長就任に伴う異動 (分館運営委員とも)

[会議]

◎図書館運営委員会

第197回 平成4年10月21日(水)

協議事項

- (1) 大学改革の推進について—図書館関係— (継続)
- (2) その他

報告事項

- (1) 附属図書館自己評価委員会委員の委嘱について
- (2) 平成4年度後学期土曜日開館について
- (3) 自然科学系図書・資料の収集計画について
- (4) 平成4年度教官選書結果について
- (5) 教育研究学内特別経費の配分について
- (6) 次期図書館長候補者について
- (7) その他

協議事項

- (1) 週休二日制実施後の土曜開館に伴う実情等について
- (2) 目録・ILLシステムを利用するための分館等の整備充実及び業務の見直しについて
- (3) 計算機システム及びネットワーク化の進展と今後の大学図書館システムの在り方について
- (4) 各大学に於ける定員削減の現場への影響について
- (5) 所蔵図書の目録データ遡及入力について
- (6) 21世紀を展望する大学図書館機能強化のあり方について
- (7) 大学図書館の自己評価について
- (8) その他

◎平成4年度国立大学附属図書館事務部長会議

平成4年12月3日(木)～4日(金)
(当番館：琉球大学)

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第25巻 第4号 [通巻第97号]

平成4年12月25日 発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098 (895) 2221 内線 (2143) 編集 びぶりお編集委員会